

<稲作経営体への園芸導入(複合経営)>

- 所得確保、リスク分散の観点から、水稻単作の経営体に園芸品目の導入をすすめる。
- JA全農にいがた 担い手支援策を活用し、重点6品目(えだまめ、たまねぎ、やわ肌ねぎ、すいか、ブロッコリー、アンジェレ)の産地育成に取り組む。
- 全農のたまねぎ広域集出荷施設、JAによる選別調製作業の受託等により、新規導入や作付け拡大をはかる。

<既存産地の生産拡大>

- 販売強化:
 - (1)卸売市場でを通じての営業強化、予約相対取引の拡大。
 - (2)JA全農青果センターとの取引拡大。
 - (3)重点取引先との直接取引の拡大。
- 全農による買取販売の拡大

<JA全農にいがた園芸担い手支援策>

- (1)園芸新規導入・定着支援
- (2)園芸品目実証圃にかかる支援事業

<JA新潟中央会>

- にいがた農業応援ファンド
 - (1)1億円園芸産地チャレンジ事業
 - (2)園芸生産拡大支援事業
 - (3)新規・親元就農応援事業
 - (4)商談会等販路拡大の活動支援事業



たまねぎの掘り取り機



JA全農青果センター